

はじめに

九州シンクロトロン光研究センター

副所長 平井康晴

シンクロトロン放射光は、既に研究・開発・生産活動における広範囲な分野で利用されており、その威力が認められつつあります。とりわけ、ナノスケール単位で材料の構造と機能を制御する必要のある半導体デバイス、ディスプレイ、ストレージ、エネルギー・触媒、新材料などの分野では、いわゆる放射光のナノテク利用として材料分析・解析が活発に行われています。九州シンクロトロン光研究センターでも、本年度から5年間の予定で「文部科学省先端研究施設共用イノベーション創出事業ナノテクノロジーネットワークプログラム」を受託し、産学官のナノテク研究の推進に資するために<シンクロトロン放射光を用いたナノ計測・分析支援>を開始いたしました。

今回、本事業の一環として、主に上記分野における産学官のナノテクノロジー研究と応用展開に携わっておられる第一線の研究者の方々に発表いただくことを企画しましたが、幸い多くの研究者・技術者の皆様のご参加を頂き、活発な討論をいただくことができました。本報告書は、その際の各講演の概要を集約したものであり、皆様のナノテク研究推進の参考資料としていただければと存じます。

なお、今後とも放射光のナノ計測・分析支援につながる分野の講習・討論の場を設けていきたいと考えておりますので、ナノテク利用を含めた皆様のご活用をお願いしますと共に、今後の発展にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。また、日頃よりご支援いただいております九州地区ナノテクノロジー拠点ネットワーク、文部科学省、および関係者の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。